

新地方分権構想検討委員会について

第1回（1月13日（金）開催）

設置要綱に基づき、神野委員長を選任

神野委員長が作成した「新地方分権構想検討委員会における検討項目等を検討するためのたたき台」を基に、検討項目等について議論

【参考】新地方分権構想検討委員会における検討項目等を検討するためのたたき台

検討項目

(1) 第1期改革（平成16年度～18年度）の総括、残された課題

(2) 今後の分権改革推進に向けて～第2期改革への取組み

あるべき分権社会のビジョン

・目指すべき社会像、目指すべき政府像

・国と地方の役割分担 等

国と地方の税源配分、税源移譲等

・あるべき国と地方の税制 等

国庫補助負担金改革

地方交付税・地方財政計画等

・地方財政計画のあり方、中期地方財政ビジョン

・地方交付税制度のあり方

・地方債制度のあり方 等

行政面での分権改革の更なる推進

国・地方を通じた行財政改革の推進

その他

第2回（1月27日（金）開催）

中間報告書の決定までの委員会の審議スケジュールについて決定

各委員から提出のペーパー等に基づき、「『分権社会のビジョン』の大枠」について議論

【参考】中間報告書の決定までの委員会の審議スケジュール

第3回 「『分権社会のビジョン』の大枠」、「第1期改革の総括、残された課題」について協議	2月21日
第4回 税源移譲、補助金改革、交付税制度等について協議	3月7日
第5回 「中間報告書」について論点を提示し、協議	3月30日
第6回 「中間報告書」について素案を提示し、協議	4月17日
第7回 「中間報告書」について協議の上、決定	5月8日

第3回（2月21日（火）開催）

委員の意見及び提出資料を基に論点を整理したペーパーに基づき、「『分権社会のビジョン』の大枠」について議論

概ねの共通認識として合意

今後、中間報告書の作成に向けて、税財政を中心に議論

各委員から提出のペーパー等に基づき、「第1期改革の総括、残された課題」について議論

【参考】委員の意見及び提出資料を基に論点を整理したペーパー（抜粋）

「『分権社会のビジョン』の大枠」

1 目指すべき政府像・地方政府像～地方分権というのは、国の形をかえること

（1）地方の自己決定・自己責任原則の確立～自律と自己統治の原理

（2）国と地方の役割の明確化・国の役割は限定

（3）補完性と近接性の原理

（4）内政の政策立案への地方の参加

（5）地方団体の連帯・連携

（6）住民を主体とした、連携・協働による行政の実現

（7）住民満足度の向上

2 目指すべき国と地域社会像・住民（国民）生活像

（1）民主主義を復活させる改革

（2）「刺激に満ちた成熟社会」

（3）セーフティネットの再構築

（4）「均衡ある国土の発展を前提とする結果平等の考え方」から「地域の個性を伸ばし選択制を担保する機会平等の考え方」へ

（5）われわれの<くに>の同胞としての連帯

（6）規格大量生産時代から知恵の時代へ

3 分権社会を目指すにあたっての背景

（1）社会の変貌と国民意識の変化

（2）地方公共団体を取り巻く状況